

輝く！島人インタビュー

第1回 久米島商工会会長 **嘉手苅 一** さん

移住定住相談窓口の「島ぐらしコンシェルジュ」が、輝く島人に島のことを色々教えてもらいます！

今回の
インタビューは
石坂です！



第1回目は、皆様ごんじ、嘉手苅商工会会長です。
昭和26年11月15日生。儀間出身。

久米島商工会会長、有限会社仲里石油商社社長、FM久米島株式会社代表取締役、久米島高校の魅力化と発展を考える会会長など、重要な役割を担われています。子どもの頃は海や川やイノー等、自然の中で遊んでいたそうです。



Q. 島人の気質や特徴はありますか？

共存共栄。久米島の島民性として、争いごとをしないということがあるもんだから。

あと、それを一番よく分かる事例があつてね、18世紀に中国船が難破した時に、真謝の人たちが助けてあげた。でも助けたことを久米島人は言いふらさない。人道的に当たり前なことだから。非常に誇り高いんだらうな。

人を受け入れる包容力は世界一だよ。福島の子たちや、130年前の島島移住や、久米高への離島留学も。特に離島留学は、都会からの留学生が地域の子も達にいじめられやしないかと責任者として心配していたんだけど、そんなことはない。みんな馴染んでとけ込んでる。久米島には人を受け入れる力がある。

Q. 久米島の今直面している大きな課題は何でしょうか？

気になっているのは、行事を開催したり、地域コミュニティの基盤となっている校区が維持できるかどうか。子育て世代や若い夫婦が住んでくれたら校区も元気になり、久米島も元気になる。

今町が目標にしている**10年後に人口8,500人**という

目標も、非常に高い壁に見えるけれども、仕事、暮らし、環境、医療含めて徐々に生活環境を整え、さらに海洋深層水を核とした産業構造をきちっとすればそんなに難しい問題ではないと思う。この島の地理的条件や、例えば県内の土質が全て揃っているとか、豊富な水やラムサール条約に登録された湿地があるとか、元々島が持っている良い素材をきちんと活かすことができれば、可能だと思う。

Q. 久米島のよいところ、魅力はなんですか？

「**ホットしてHOTな島**」ってところ。この島に帰ってきた時にほっとするんだよね。島に初めて来た人も6割くらいの人言うね、「この島ほっとする」って。で、活発で、アツいところもある。そんなところかな。

ありがとうございました！

もっと詳しく読みたい、他の方のインタビューも読みたい方は

Q久米島 島ぐらしガイド で検索

島コンニュース！ 移住定住の推進を目指して、計画作りがスタートしました！

久米島町の人口減少に歯止めをかけるため、移住定住推進計画を今年度策定します。福祉・仕事・子育てなど各分野の町民の方々と共に、移住定住に関わる課題や推進方法を検討していきます。7月4日に行われた第1回会議では、移住する際に「住民と移住者が交流し、意見交換をする場が十分にない」という課題が挙がりました。次回の会議でさらに議論を深め、解決策を探っていきます。

会議についてご意見などある方は、企画財政課までご連絡ください。



☆お問合せ☆

企画財政課 島ぐらしコンシェルジュ

HP: <http://www.shimagurashi.net> 「久米島 島ぐらしガイド」で検索

Tel:985-7122 FAX:985-7080



少しずつ掲載情報も
増えています！
求人・住宅情報登録の
リクエストも受付中です！

海洋エネルギー連携協定締結式

海洋温度差発電の
地域交流の推進に



久米島町と佐賀県伊万里市、佐賀大学の3者で海洋温度差発電の研究開発の推進や経済や文化など多面的な交流、連携を図り、産業振興や地域活性化へつなげることを目的として、7月14日、佐賀大学海洋エネルギー研究センター伊万里サテライトにて「海洋エネルギー連携協定」締結式を執り行いました。

締結式では、沖縄県商工労働部並びに佐賀県産業労働部立ち会いのもと久米島町大田治雄町長、伊万里市塚部芳和市長、佐賀大学宮崎耕治学長の3名により協定書に署名しました。

「海洋温度差発電」での久米島町、伊万里市、佐賀大学とのつながり

- 昭和55年 伊万里市に日本初の「海洋温度差発電実験所」設置
- 平成15年 佐賀大学海洋温度差発電研究センター伊万里サテライト開設
- 平成25年 久米島町に「海洋温度差発電実証設備」稼働
- 平成26年 久米島町に「佐賀大学海洋温度差発電研究センター久米島サテライト」開設

くめスポっ！ Kumejima Sports News

第33回

沖縄県成年親善 ゲートボール大会

優勝	チェリーチーム(那覇市)
準優勝	大田Aチーム (久米島)
3位	仲泊Bチーム (久米島)
	ゆうなチーム (北谷町)

7月13日、久米島ホテルドームにおいて、第33回沖縄県成年(60才以上)親善ゲートボール大会が開催されました。大会には、16チーム(沖縄本島6チーム、久米島島内10チーム)が参加しました。各チームは6名以内で構成されており、予選リーグと決勝トーナメントを行いました。今大会には、世界選手権大会や全国選抜大会の優勝者や準優勝の人が在籍しているチームが4チームありましたが、久米島島内のチームも負けじと活躍しました。



第15回久米島町年代別ソフトボール大会

	優勝	準優勝
一般の部	平成4年生	昭和56・57年生
成人Aの部	昭和45年生	昭和54年生
成人Bの部	昭和39年生	昭和41年生
壮年の部	昭和28年生	昭和34年生

7月17日、仲里総合グラウンドにて第15回久米島町年代別ソフトボール大会が開催されました。昭和28年生から平成6年生までの世代が集まり、4つのブロックに分かれて試合が行われ、各ブロックで熱戦が繰り広げられました。

